

【迷惑撮影対策】U16U18 陸上競技大会、U20 日本選手権の撮影規制について

日本陸上競技連盟(本連盟)では、すべてのアスリートが安心して競技に取り組める環境を目指して、迷惑撮影対策を進めており、日本選手権、GGP などの主催大会では選手の心理的負担軽減のために 2024 年度より 1 階層での一般客による一眼レフ等での撮影を禁止してきました。

一方で、主に中高生の大会など予算および体制面などから警備配置が難しい大会では、会場での迷惑撮影が減らない実態が続いており、対策強化が急務の状況になっております。

未来を担うアスリートたちが安心して競技に取り組める環境をつくるために、競技会においてはこれまで以上に厳しい対策を実施すると共に、アスリート委員会と協働して選手への啓発活動に努めていきます。アスリートに寄り添い、アスリートが安心して競技に取り組める環境を目指します。

<撮影規制>

・報道関係者など主催者が認めた方を除く、一般(選手・コーチ・大会関係者・保護者・観客を含む)の方の一眼カメラ、ビデオカメラ等での撮影を禁止

※一般の方は、スマホとタブレットのみ撮影可能（撮影可能エリアのみ）

※報道関係者など主催が認めた方は、ビブスを着用

○対象大会(2025 年度)

- ・2025 年 9 月 27 日～28 日 ／ 第 41 回 U20 日本陸上競技選手権大会(静岡)
- ・2025 年 10 月 17 日～19 日 ／ 第 19 回 U18／第 56 回 U16 陸上競技大会(三重)

○迷惑撮影対策

以下の迷惑対策を実施いたします。

- ・通報フォームの設置
- ・撮影禁止エリアの設定(100m スタート後方など)
- ・地元警察による巡回
- ・警備員による見回り
- ・大型映像などで抑止
- ・ポスター等の掲載
- ・アスリート委員会との取り組み
- など